

5年ぶり

第66回全日本大学野球選手権大会出場 ご声援、ありがとうございました。

日頃は、岡山商科大学硬式野球部の活動に深いご理解と多くのご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、この度の第66回全日本大学野球選手権大会出場に際しまして、多数の皆様より多大なるご支援と貴重なご寄付をいただき、厚く御礼申し上げます。

お陰様で選手達は、大学野球の聖地明治神宮野球場でプレーする夢が叶い、また平成10年大会で0-7とコールド負けを喫した関西学生野球の雄、近畿大学に4-2で勝利することが出来19年ぶりに雪辱を果たすことができました。

また試合当日には、遠路岡山から多くの教職員や在校生、大学附属高等学校吹奏楽部の皆様が強行日程にもかかわらず深夜バスをチャーターして応援に駆けつけていただき、関東地域の卒業生やサポーターの方々と一緒に大応援は、まるでホームゲームのような雰囲気です。選手たちは落ち着いて試合に挑む事ができました。

残念ながら2回戦では近畿学生野球連盟で15連覇中の奈良学園大学を破り初出場を果たした国立和歌山大学に1-4で惜敗してしまい、新たに応援にお越しいただいた皆様や教室のパブリックビューイングでご声援をいただいたサポーターの皆様の「ぜひ上位へ進出して」との期待に応える事ができなかった事を本当に悔しく思っております。

平成29年9月2日(土)からはマスカットスタジアム(岡山県倉敷市)で中国六大学野球秋季リーグ戦が開幕し、第1週福山大学戦からシーズンがスタートし、第2週に山口県周南市で徳山大学、第3週に広島県三次市で東亜大学、10月7、8日第4週に山口県下関市で吉備国際大学、10月21、22日(最終週)にマスカットスタジアムで環太平洋大学(春季2位)と対戦する約2ヶ月間の日程が発表されました。



中国六大学野球春季リーグ優勝の瞬間



全国大会出場メンバー

新チームは選手権大会終了後すぐに始動し、4年生では近藤弘樹、蔵本治孝両投手をはじめプロ、社会人野球志望の4名が残留していますが大半は実戦経験の少ない選手であり、関西遠征や山陽新聞社杯などの大会を通じて経験を積ませるとともに、最終メンバーの選考や最終調整を行っています。リーグ戦は春季同様に最終週まで混戦の難しい戦いが続くことを覚悟していますが、なんとしても春秋リーグ戦連覇を目標に赤木貴人監督、コーチ、選手が一丸となって日々練習に励んでおります。

皆様方から頂いた温かいご支援に硬式野球部一同、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げ、結果報告に併せ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

岡山商科大学 硬式野球部 部長 高林宏一

CONTENTS

<商大トピック>

- 東洋経済新報社・山縣社長による講演会
- 射撃部の活動について
- 岡山市大学生まちづくりチャレンジ事業の認定
- 2017年度バスケットボール教室

<情報アラカルト>

- 観光振興論特殊講義について
- 50周年スクエア・スタンド完成
- 2017年度後期夕学講座

商大トピック

Topic 4

模擬裁判について

2017.4.27

4月の終わりに、本学の模擬法廷教室において模擬裁判を行いました。刑法ゼミ所属の3年生が、裁判官、検察官、弁護士、被告人、証人を演じ、それを傍聴した1年生に被告人が有罪か無罪かを議論してもらおうというものです。最後は、どちらの議論が優れていたかを演じた3年生に投票で決めてもらいました。



この模擬裁判にはいくつかの狙いがありました。一つは、自分と反対の立場の見解も考えてみることで、様々な視点が得られることを実感すること。もう一つは、感覚的にこっち、と思つた意見に理論的な理由付けをすることの大切さを実感すること、でした。どちらも法的思考の基本であり、これらを欠くと説得力のある意見になりません。

とはいえ、1年生になったばかりの学生達です。とりあえず何でも言ってみよう！と促してやってみたところ、あちこちで笑い声も聞こえつつ、一生懸命議論してくれました。破綻した意見も出ましたが、ほとんどの視点を示してくれた学生もいました。後日のアンケートでは、ほとんどの学生が上述の狙いを理解し、なおかつ「法学部で学ぶ意欲が増した」、「他の人と仲良くなった」といった良い副産物もあつたことがわかりました。

ちなみに議論の結果、被告人は無罪でした。言い渡しを受けた被告人役の学生は、役の上にも関わらずほっとした表情を浮かべていました。本場の裁判ならば、まさに人の一生を左右することです。多くの学生がそのことに思いを馳せ、「真剣に勉強して議論しないとイケないと思った」と実感していました。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

Topic 5

犯罪被害者支援サークルへの「岡山市大学生まちづくりチャレンジ事業」認定について

2017.5.1

今年5月、犯罪被害者支援サークル「つぼみ」が学生有志によって結成されました。本学では毎年、犯罪被害者支援に携わる警察の方や被害者ご遺族の方の講演会を開催しています。このサークルは、これを聴講した学生達によって自発的に立ち上げられたものです。彼らは今後犯罪被害者支援とその啓発のための活動に取り組んでいきますが、今年度は岡山市の「大学生まちづくりチャレンジ事業」の認定を受け、これに沿って活動を予定しています。

「大学生まちづくりチャレンジ事業」は、大学生が地域や企業、NPO等と協働して取り組む地域における活動に対し岡山市が補助金を交付し支援するものです。「つぼみ」は、彼らの活動に賛同して下さった岡山県警、津島学区交通安全対策協議会、京山地区安全パトロール隊、京山公民館と協働します。岡山市は交通事故死者数で政令指定都市ワースト1となっており、交通事故被害者遺族の生の声を多くの人に伝えるべく、今後、福岡県飲酒撲滅活動アドバイザーの山本美也子氏の講演会を開催することを計画しています。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

Topic 6

商学科親睦行事 吉備路ハイキング

2017.5.20

2017年5月20日の土曜日、もう夏が来たのでは？ と考える程日差しが強い五月晴れの日に、恒例の「吉備路ハイキング」が実施されました。これは、4月に入学した1年生、3年次編入生たちが教室を離れ、互いに親交を深め合う目的で行われるもので、数えて6回目となります。

今回は1・3年生計79名、うち留学生25名の参加がありました。引率教職員も合わせると総勢100名近くに吉備路自転車道をいくつかの固ま

りとなって、ワイワイガヤガヤと楽しく会話しながら吉備津彦神社を目指しました。

到着すると、大石先生より神社のいわれや参拝の仕方等の説明があった後、全員で記念撮影。そして各自持ち寄ったお弁当を広げ、しばしの休息を取りました。その間、神社で結婚式を挙げる和装の新郎新婦に出会ったり、留学生と日本人学生と一緒に写真を撮り、互いのアドレスを交換したりと、今年も国際文化交流の一面ものをかしてくる行事となりました。

(商学科長 三好 宏)

Topic 7

FPコース・キッズマネー教室

2017.6.4

6月4日(日)に、大学コンソーシアム岡山が主催の「平成29年度・日よび子ども大学」が開催され、本年度も経営学部商学科FPコース生が「キッズマネー教室」を実施しました。



毎年、FPコースの行事として行っている当プログラムは、学生が制作したシナリオに基づき、小学生がゲーム感覚で「おこづかいの使い方・貯め方」を学習できる内容となっています。今回はFPコース3回生の協力のもと、2回生が中心となって、1回あたり45分のプログラムを4回行い、合計で28名の小学生が参加し、真剣かつ楽しそうに取り組んでいました。同席して見守っていた保護者からも「とても勉強になった」と感謝の言葉もいただき、小学生向け金融リテラシー教育を学生主体で実施している意義を改めて実感することができました。学生にとっても、この貴重な経験の積み重ねによって企画力・プレゼン能力の向上につながったと思われる。フィナンシャルプランニングの実践学習と位置づけている当プログラムを学生が更に発展させてくれることを期待します。

(商学科FPコース長 海宝賢一郎)

Topic 8

真庭市社地域における竹灯籠贈呈式

2017.6.8

6月8日に真庭市社地域における竹灯籠贈呈式を開式いたしました。社地域振興協議会 狩谷さま、真庭市湯原振興局地域振興課 杉村主査が本学に越しになり、湯原地域の社地域振興協議会が大晦日に行った「やしろ竹あかり」で使用した竹灯籠を本学へ譲り受けました。



昨年、包括連携を結んでいる真庭市から「真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「中世市内八社の歴史をつなぐ事業」として依頼をうけ、学生に募集を行い、10月9日に行われた秋季祭礼へ参加しました。その縁があって、今回、社地域から本学に「やしろ竹あかり」で使用した竹灯籠を譲り受け、慶應MCC夕学講座や7月8日に行われた「エコナイト」での展示、またオープンキャンパスにて再利用しております。

今後、来年に引き続き秋季祭礼へ参加すると共に、真庭市社地域にて竹灯籠作りのワークショップを地域の方と一緒に予定しています。

(産学官連携センター)

Topic 9

射撃部の活動について

2017.6.17

平成29年6月17日、この岡山商科大学に、中四国の大学で初となる10mエアライフルとエアピストル用の射撃場が学内に完成しました。

Topic 1

学位記授与式

2017.3.22

2017年3月22日(水)第49回学位記授与式が挙行されました。本学吹奏楽部と附属高等学校吹奏楽部の合同演奏により、厳粛な音楽が奏でられ、井尻学長や来賓から、お祝いの言葉が卒業生に贈られました。卒業生を代表して、法学部法学科 池田幸平さんから、恩師や後輩そして両親への感謝の言葉を述べられました。

●学位記授与者数

法学部法学科	68
経済学部経済学科	105
経営学部経営学科	114
経営学部商学科	108
商学研究科	4
法学研究科	2
経済学研究科	1

(総務企画課)

Topic 2

2017年度 入学宣誓式

2017.4.3

2017年4月3日(月)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。本学吹奏楽部と本学附属高等学校吹奏楽部による華やかな演奏が式に彩を添え、井尻学長から入学の許可が宣言されました(学部、大学院など計572名)。新入生を代表して、法学部法学科 和田光輔さんから入学の宣誓がなされ、本学での新生活がスタートしたのです。

(総務企画課)

Topic 3

2017年度岡山経営者論

2017.4.24~

今年度は、(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、金融をテーマに岡山経営者論を開講しています。1996年から20年余も続く本講義は、「アクティブラーニング」という教育形式で講義が行われています。この教育形式は、提示された課題に対してグループ内で討論し、まとめ、そして発表までを行うことで、集団での問題解決能力や発表力の修得を目的として取り組んでいます。



2017年度前期は、日本銀行岡山支店岡山支店長・福地慶太氏、(株)日本政策投資銀行岡山事務所事務所長・高橋淳悦氏、(株)三菱東京UFJ銀行岡山支社支社長・松井豊氏、おかやま信用金庫理事長・桑田真治氏、(株)商工組合中央金庫岡山支店支店長・釘崎信行氏、(株)中国銀行代表取締役頭取・宮長雅人氏にご登壇いただきました。

後期では、SMBC日興証券(株)岡山支店支店長・木下直直氏、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)岡山支店支店長・鈴木敏文氏、野村證券(株)岡山支店支店長・西田久志氏、大和証券(株)岡山支店支店長・竹内竜也氏、みずほ証券(株)岡山支店支店長・飯塚正也氏、東海東京証券(株)岡山支店支店長・浜田周作氏らをお招きし、2回ずつ講義をして頂く予定になっています。

(経営学部 准教授 渡邊憲二)

大学内に射撃場が完成したことにより、今まで岡山市の郊外まで練習に行くしかなかった状況が一気に変わり、とても練習しやすくなりました。



現在、射撃部は関西学連に所属しており、学連主管の西日本大会などに参加しています。平成29年6月下旬に長崎県で行われた西日本選手権ではエアピストルで優勝を飾り、大きな躍進を見せました。エアライフルの選手も目標を高く持ち、日々の練習に励んでいます。大学内に射撃場を保有しているのは中国四国では本学だけです。この大きな利点を生かして、商大射撃部の更なる発展と全国制覇を目指して邁進したいと思っています。

(法学部法学科 3年 室山侑太)

Topic 10

喫煙スペースについて

2017.6.22

労働安全衛生法に定められた快適職場形成の一環として、平成4年以降厚生労働省によって進められてきた「受動喫煙防止対策」でしたが、その後、健康増進法が平成15年に施行され、さらに、平成17年には「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」が発効されるなど喫煙を取り巻く環境は激変してまいりました。本学でも、学内での喫煙に対して厳しい意見が高まり、一昨年には大幅な灰皿の撤去を行い、ポイ捨てや歩行喫煙は激減しております。この度、50周年記念スクエアのスタンド休憩場内に喫煙場所が設けられたのを機に、次の3か所を喫煙場所としましたのでご協力方よろしくお願いたします。



1. スタンド休憩場の東棟内の喫煙スペース
2. 本館3階廊下西端のスペース及び本館と8号館連絡通路横の階段踊り場
3. 6号館と7号館の間の渡り廊下付近 (学生課)

Topic 11

2017年度岡山商科大学バスケットボール教室

2017.6.24-25

本年度、4月、バスケットボール元日本代表で国内最高峰のリーグで活躍していた宇田康利氏を本学バスケットボール部監督(本学職員)に迎えました。



現在、附属高等学校には同じく元日本代表で高校教員として初となる日本代表のアシスタントコーチを務めた納谷幸二バスケットボール部監督(教員)が在籍しており、学園としては、素晴らしい人の資産を有しております。そこで、地域貢献及び中高大連携事業の一環として、この2名による中高生を対象としたバスケットボール教室を下記のとおり、開催いたしました。

実際に最高峰のリーグで実施している技術を向上させるための重要な身体づくり、基礎練習などを体験してもらいました。両名とも「基礎練習はつまらないと思うが基礎なくして、高度なプレイ、技術の向上は期待できない。」と説明していました。

参加した生徒たちは両名の指導を少しでも多く吸収しようとする真剣に取り組んでいると感じました。2020年には東京オリンピックが開催されますが、今回参加された生徒の皆さんの中から日本代表のメンバーが生まれればと願う教室を終えました。

記

1.日時 ①2017年6月24日(土)

13:00~16:00 高校生対象
参加者 約130名
②2017年6月25日(日)
10:00~13:00 中学生対象
参加者 約120名
(バスケットボール部 監督 宇田康利)

Topic 12

講演会「金融機関の現状と課題」

2017.7.5

2017年7月5日(水)、トマト銀行取締役副社長 細田隆氏をお迎えし、「金融機関の現状と課題」という題目でご講演いただきました。



主な内容は、①金融の基礎、②日本全体におけるこれまでの金融機関の歴史的な動き、③豊かな地域経済社会の実現に向けた地域金融機関の現在の取り組みなどで、さまざまな角度から「金融」についてお話をいただきました。

ご講演内容から、人口減少、少子高齢化、東京一極集中問題に直面する地域経済が持続的に存在していくためには、地域金融機関の役割が非常に重要であることを再確認することができました。

また金融機関への就職を目指している3、4年生だけでなく、金融に興味・関心を持っている1、2年生や留学生も講演会に参加し、熱心に話を聞く姿が見られました。

なお、来年4月より新たに「金融コース」を加えた3コース体制(経済理論・政策、データ分析、金融)でスタートする経済学部にとりまして、大変有意義な講演会となりました。

(経済学部 准教授 山根智沙子)

Topic 13

東洋経済新報社・山縣社長による講演会

2017.7.21

2017年7月21日に『週刊東洋経済』や『会社四季報』でおなじみの東洋経済新報社から、代表取締役社長の山縣裕一郎氏をお招きし、講演会を開催しました。学生教職員約200名が参加する中、次のようなお話をいただきました。



「グリーンバブルが印刷技術を築いてから570年目。今、ICTがこの世界を崩しつつあります。アマゾンの「Kindle」とアップルの「i-Phone」の出現により、出版業界を取り巻く環境は激変しました。雑誌は19年連続で縮小。本を読まない人が3分の1に増えました。この結果、全国で書店がない無書店自治体は2割にも上ります。出版業界と同等、いや、それ以上に打撃を受けているのが新聞です。総発行部数のピークは1997年の5,376万部。19年で約1,000万部減っています。

ネットメディア、SNSが台頭した結果、既存メディアに対して疑問を抱き、ネットの森をさまよう人が増えてきました。その中には裏付けのない誤った情報も少なくありません。どうぞ、信頼性あるメディアの森を散策して下さい。自分の興味のあるテーマを持続的に追いかけかけてみては。たとえば、本を読むとき、目次を見て読みたい章に○をつける。そこから読み始め、余った時間で残りの章も読んでみるという方法をお勧めします。」

(経営学部 教授 長田真仁)

Topic 14

2017年度科研費の採択状況について

2017.9.1

科学研究費助成事業(科研費)は、研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つで、文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的

な「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的としています。科研費制度では、研究者から応募された研究計画について厳正な審査を経て採択を決定し、研究費が助成されます。本学からも毎年多数の研究者が申請を行っており、平成29年度は、以下の研究課題で研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基礎研究(A) [研究代表者] H26~29	日欧自動車メーカーの「メガプラットフォーム戦略」とサプライチェーンの姿容	古川 澄明 (経営学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H26~29	アジア移住者リズムに関する社会調査の実施とそれに基づくELSIの検討	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H26~29	学歴と賃金構造の国際比較	三谷 直紀 (経済学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H26~29	民主主義理念と次世代市民の道徳性育成の歴史的展開と将来像に関する研究	伴 恒信 (経営学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H26~29	商業における老舗の競争優位に関する地域間比較研究	田村 直樹 (経営学部・准教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H27~29	価値合理性の復権—とくに新保守学派の規範概念を中心に	九鬼 一人 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究分担者] H27~29	中学生の批判的思考力を育成する社会科授業開発に関する発見的研究	前田 健一 (経済学部・教授)
基礎研究(B) [研究代表者] H28~30	公的大規模データの活用におけるプライバシー保護の理論と応用	佐井 至道 (経済学部・教授)
基礎研究(C) [研究分担者] H28~30	北海道における高齢者の孤立化に関する発展的研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究分担者] H28~30	高度先端医療の説明義務と裁量に関する倫理・法・社会的視点からの複合的研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
挑戦的萌芽研究 [研究代表者] H28~30	アジア和僑ビジネスと日本地方農水産業・国際ロジスティクス・ネットワークの併呑	古川 澄明 (経営学部・教授)
若手研究(B) [研究代表者] H28~30	複数事例の進展統合化グラフによる事業所内の潜在的リスク可視化システムの開発	箕輪 弘嗣 (経営学部・准教授)
基礎研究(A) [研究分担者] H29~33	イギリス公法争訟における違法性の判断構造に関する研究	伊藤 治彦 (法学部・教授)
基礎研究(B) [研究分担者] H29~32	「子宮移植」の是非を問う—倫理的・法的・社会的課題(ELSI)の検討から—	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H29~31	「手術誘引」の研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H29~31	アイトラッキング・データを活用した消費者行動の分析	大東 正虎 (経営学部・准教授)
挑戦的萌芽研究 [研究分担者] H29~31	認知症患者の人権保障に向けた学際的研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
若手研究(B) [研究代表者] H29~30	経済的アプローチからみた新たな家族制度とそれに対応する租税法の探求	加藤 友佳 (法学部・准教授)
若手研究(B) [研究代表者] H29	フグ処理者の認定手法の標準化に関する研究	古川 澄明 (経営学部・教授)

(総務企画課)

Topic 15

キッズビジネスパーク2017 ~「だれかのために!」で広げるおかやま~

2017.9.2



2017年9月2日(土)に、コンバックス岡山に於いて、小学生を対象とした職業体験型イベント「キッズビジネスパーク2017」が開催されました。毎年、本学からは学生がボランティアスタッフとして参加協力させていただいておりますが、本年度は34名の学生が店長として参加しました。

当事業は、公益社団法人岡山青年会議所が主催しており、岡山県内にある60余りの企業・団体が店舗ブースを出し、そこで小学生3年生から6年生までの児童が職業体験を行うイベントです。4回目を迎えた当イベントは、参加児童数が昨年の2倍にあたる約1,000名にもなり、同じボランティアスタッフとして派遣された約110名の岡山県立岡山南高等学校の生徒と共に、本学の学生も大学生としてのリーダーシップを発揮して、活躍してくれました。参加した34名の学生にとって、「小学生に教える」という貴重な体験は、社会に出てからも役に立つ財産の一つになったものと思われま。 (社会総合研究所 次長 海宝賢一郎)

湯原温泉露天風呂の日

2017.6.26

2017年6月26日（月）、真庭市の湯原温泉にて「湯原温泉露天風呂の日」のイベントが開催され、本学の学生5名と教員が参加しました。湯原温泉では、昭和62年より、毎年6月26日を語呂合わせから「露天風呂の日」と設定しています。露天風呂の日では、観光を支えている温泉に感謝する神事が執り行われる他、地元の人々や観光客への感謝を込めた様々なイベントが実施され、湯原温泉街が多くの人で賑わいます。

湯原温泉と本学は、これまで実習や行事等で長く関わっており、露天風呂の日のイベントの他、8月に実施される「はんざき祭り」にも、多数の学生が参加してきました。今回、学生

は前日に湯原温泉へ向かい、当日は2名の学生が巫女役として神事に参加しました。また、他の学生は露天風呂の清掃活動や、イベントの準備作業などを行いました。その後は、観光客に対するアンケート調査を実施し、多くの方々から協力を得ることができました。

本学は、2015年11月に、真庭市および湯原町旅館協同組合と包括協定を結びました。今後は、湯原温泉との結びつきをこれまで以上に強くし、露天風呂の日やはんざき祭りに加え、他の様々なイベントにも参加していく予定です。また、前述のアンケート調査やインタビュー調査など、学生や教員による調査・研究活動を継続し、少しでも湯原温泉のお役に立てるような活動に取り組んでいきたいと考えています。

(経営学部・講師・大石貴之)



エッセー
数珠つなぎ

「近ごろ、思うこと」

経済学部 講師 井尻裕之

岡山商科大学に来てから、早くも1年半がたとうとしております。それとともに、私自身の「大学教員」歴も同じ時間がたちました。この大学教員という職業は、研究はもちろんのこと学生に何かを「教える」ことを仕事にしているわけですが、如何せん私は人前で何かを発表するといったことに強い苦手意識を持っております。

研究発表の場では、発表の中で聞き手（同じ分野の先生方）の多大なる厚意によって至らぬ点が補完されます（質疑応答もありますし…）。しかしながら学生に対する発表（授業）となると少し勝手が違ってきます。少しでも伝え方がよくない、説明が十分ではない場合には、その授業内容は学生に残っておらず、そこで終わってしまいます。

いざ学生時代の自身の勉強・研究はどうであったかを振り返ってみると、「机の上」での勉強の機会や経験は多々ありました。その一方で人に何かを伝えるということについて考え、学んだことは、ほとんど皆無であったと思います。他方、学生時代に体験した面白かった授業や発表は今でも印象に残っています。

この経験や反省を踏まえ、これまで誰かに伝える「術」についてあまり真剣に考えてこなかったと、この約1年半を通じて痛感しています。また、このことは学生にとっても同様で、社会に出るまでに彼ら彼女らが相手に伝える「術」を真剣に考える機会は一切どれ程あるのだろうか…と、おそらくそれは数えられる程ではないでしょうか。

机の上の勉強とは異なり、この伝える「技」を磨くためには、必ず相手が必要です。このようなことを考えているうちに、私も学生とともに「技」を磨かなければと、そんな真面目なことを考えている今日この頃です。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

仕事柄、あちこちに取材に向くことも多いのですが、この頃、どの土地に行っても外国人の姿を見ないことがありません。欧米だけではなく、同じアジア圏の国々の観光客が、日本に溢れかえっています。

この上半期も海外からの旅行者が過去最高を記録したということですが、この過去最高というのもこのところ、毎年繰り返されています。なぜ日本にこれほどの関心が集まり、この国や土地、文化に触れたいと思う人が増えたのか、まじめに考えると不思議な気がします。

日本は特に戦後、アメリカからの文化や思想、また様々な流行の影響を受け続けてきました。古来の日本の精神的な文化は置き去りにされたのか、それとも廃棄してしまっただけなのか、日本はアメリカの属国のような立位置で、政治的にも文化的にも過ごしてきたように思います。

いま日本を訪れる外国人の関心は多様です。とうに失ってしまったかのような日本の文化を彼らは、今この日本の中に見出そうとしたり、あるいはアニメやゲームの文化に触れようとしていたり、百貨から高価な電化製品や薬品などの面白い物を楽しんだり。

彼らの行動や関心事から、一律に何かの共通項を見出すことは難しいようにも感じます。むしろ、何か一つのことには魅力がないのであれば、これほど多くの人が世界中から集まらない。多様であることが、彼らの関心をひきつけてやまないのかもしれない。

日本の神話を紐解けば、そこには多様な民族が少しずつ織りなしていったと思える物語のタペストリーがあります。それは太平洋の島々から、ユーラシア大陸の南北、西から多様な人が集まったからこそと思える物語です。

そんな神話時代の動きが、今の日本で始まっているように思うのです。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

岡山商科大学孔子学院は、岡山商科大学と大連外国語大学との共同プロジェクトとして平成19年(2007年)に開設されました。本学院のこれまでの歩みは多くの方々のご支援があって初めて実現できたものであり、関係の皆様方に心より御礼申し上げます。

さて、2017年度上半期も孔子学院では中国語講座を中心として様々な活動を展開してきました。中でも最大のイベントは7月8日に開催された中国語スピーチコンテストでした。今回のコンテストは大連外国語大学孔子学院のグローバルなプロジェクトの一環として遼寧省国際文化経済交流センターの協賛のもとに実施され、交流センターからは3名の来賓にお越しいただきました。さらに、中華人民共和国駐大阪総領事館からも2名の領事に審査員として参加していただきました。コンテストでは孔子学院の受講生と一般の方々から多数の参加をいただき、中国語だけではなく茶芸や二胡などの中国文化に関するパフォーマンスの審査も行われ、入賞者には賞状とともに豪華賞品が贈られました。

その他にも(1)中国伝統の「端午節」をコンセプトとした一般参加の粽作りなどを行う文化交流会。(2)津山商業高校との遠隔システムによる中国文化授業(全8回)、第1回目は実際に孔子学院スタッフと本学留学生が津山商業高校に Outreach 高校生と一緒に粽作りなどの交流会を行いました。(3)中国料理教室。(4)太極拳サロン、これは後期には太極拳講座として開



(孔子学院)

講される予定です。(5)高校や大学の先生による大連への教育者訪中団。(6)岡山商科大学の学生と孔子学院の受講生を中心とした中国語学短期研修サマーキャンプなど様々なイベントを行っています。

明日を担う若者にとって、中国は無縁ではありえません。岡山商科大学孔子学院の活動の目的は、中国語を通して、中国の文化・経済社会を正しく理解することであり、グローバル化の機運が高まる中、岡山における国際化の拠点の一つとして、その役割を果たしていきたいと考えています。

本年は下半期の最大イベントとして岡山商科大学孔子学院設立十周年祝賀式典を11月18日に岡山シンフォニーホールにて挙行し、同日13時から大連外国語大学芸術団による中国伝統芸術鑑賞会等を行う予定です。芸術鑑賞会は広く一般に無料で開放いたします。多数のご来場をお待ちしております。

今後とも岡山商科大学孔子学院をご支援いただきますようお願いいたします。

茶道・座禅を体験して

2017.7.8

留学生向けの科目「日本事情1」では、日本の伝統文化である「茶道・座禅」を体験させるイベントを毎年初夏に実施しており、今年で9年目となります。地域の方に茶道・座禅のボランティア講師としてご指導いただき、犬養木堂記念館様のご協力により、同館内「木堂塾」において行いました。参加した28名の留学生のうち、4名の感想を紹介します。

- 初めての茶道と坐禅の体験をしました。本当に日本的だと思います。坐禅はとてもきつい体験で、最初足がつかなくなりました。でもだんだん心が平靜になり、何も考えず平和になりました。こんな気持ちははじめてでした。すばらしい体験でした。(楊澄)
- 茶道は、私が思う日本固有のものの中で一番すてきなことだと思います。最初は足も痛くて、過程も難しくて、ここまで大変なことをしてお茶一杯を飲まなければならないのか

という不満もありました。一度や二度では全部覚えられないほど規則が多く細かいからです。しかし、反対にそれが茶道の趣だと思います。詳細に組まれた規則の中で見られる礼儀は他のところには見られない作法だと思います。一期一会という精神の中で守る礼儀と作法はとても大切にこれからも守っていくべきと考えています。(安智智)

- まず坐禅は瞑想のように何かを考えるのではなく、何も考えないのです。1~10まで数に集中するのがポイントです。最初は足がしびれるし、体もぶるぶるしましたが、時間がたつと自然に考えがなくなりました。そして姿勢も楽になりました。茶道はとても難しく、道具もたくさんあったり慎ましい雰囲気でした。日本の文化を体験したいですが一人ではなかなか機会がないので、この機会を通じて楽しい時間を体験できました。(李賢鎮)



- 日本は礼儀作法を最も重視するようです。日本の人々が親切に思われていたのはこのマナー教育のためで、日本伝統文化を体験してみたい人がいたらここを体験して欲しいです。このような大切な授業を提供していただいた先生たちに感謝の言葉を伝えます。(尹晴爰)

(教務課)

キャリアセンター便り

就職活動の前半を振り返って

今年度の大学卒業予定者の就職状況は、昨年度と同様に「売り手市場」ということで好調である。大卒求人倍率においても業種間で差はあるものの、今年度は1.78倍（昨年度1.74倍：リクルートワークス研究所調べ）となっている。就職活動のスケジュールは昨年度と変わりはないが、今年度の就職活動の特徴として3つ挙げたい。

まず1つ目は、様々な就職活動のスケジュールが前倒しとなり、そのスピードも速かったということ。3月から4月にかけて合同企業説明会や各企業の個別説明会が集中して実施され、早ければ4月頃から内々定を出す企業もあった。本学の5月末時点での就職内々定率は学部全体で32.8%となり、昨年度の同時期と比べ4.4ポイント上回った。これにより、学生が企業研究、会社説明会への参加、採用試験受験という一連の流れを、短期間に集中して取り組まなければいけなかったことが感じられる。

2つ目は、「ある企業を見つけたらそれにまっしぐら」という学生が多いように感じられたこと。昨年度と比べて学生全体の動きが1か月早く、積極的に動くということで状況として

は良かった。しかし、業界を絞りすぎた一部の学生がリスタートせざるを得なくなった時、最初の段階で業界研究が不十分だったために、新たな活動の一步がなかなか踏み出せなかったように思われた。

3つ目は、「売り手市場」という良い環境でありながら、学生本人や保護者が希望する求人は意外に少ないということ。例えば「名の知れた企業へ」「他県への転勤は嫌だ」「営業をしたくない（させたくない）」など、面談においてこのような希望を聞くことがよくある。名の知れた企業には県外にも多くの支店を構えており、大卒となれば将来的に管理職となるため転勤はやむを得ない。また、文系大学である本学に対して企業側は営業職の人材を期待しており、営業職にとって努力目標は必要なことである。今からでも遅くはないので、自分自身の仕事観を再度見つめ直してほしいと感じている。

これらの特徴はこの売り手市場が続く間は大きく変わらないと考えている。7月末時点での就職内々定率は66.7%（昨年度64.5%）となっているが、就職活動は時期からしてまだこれからといえる。キャリアセンターには多くの企業が求人に来られるので、まだ内々定を獲得していない学生は焦ることなく、また、新たな企業を視野に入れて活動する学生は、自分の可能性を信じて就職活動を継続してほしい。

（キャリアセンター課）

Information 情報アラカルト

平成28年度計算書（岡山商科大学収支内訳表）

資金収支内訳表 (単位：千円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,542,837
手数料収入	21,584
寄付金収入	11,831
補助金収入	213,939
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	51,297
受取利息・配当金収入	5
雑収入	62,064
収入の部合計	1,903,557
支出の部	
科目	金額
人件費支出	1,090,488
教育研究経費支出	474,057
管理経費支出	125,679
借入金等利息支出	653
借入金等返済支出	10,800
施設関係支出	113,790
設備関係支出	57,305
支出の部合計	1,872,772

事業活動収支内訳表 (単位：千円)

科目		金額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,542,837
		手数料	21,584
		寄付金	13,067
		経常費等補助金	213,939
		付随事業収入	51,297
		雑収入	62,064
	支出	教育活動収入計	1,904,788
		人件費	1,089,659
		教育研究経費	618,342
		管理経費	157,532
徴収不能額等	0		
教育活動支出計	1,865,533		
教育活動収支差額	39,255		
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	5
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	5
	支出	借入金等利息	653
		その他の教育活動外支出	5
		教育活動外支出計	658
教育活動外収支差額	△ 653		
経常収支差額	38,602		
特別収支	収入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	支出	資産処分差額	1,865
		その他の特別支出	0
特別支出計	1,865		
特別収支差額	△ 1,865		
基本金組入前当年度収支差額	36,737		
基本金組入額合計	△ 159,497		
当年度収支差額	△ 122,760		
(参考)			
事業活動収入計	1,904,793		
事業活動支出計	1,868,056		

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

人事異動

(2016年9月～2017年9月)

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	招へい講師	孫 思佳	経済学科	9月13日
	招へい講師	孫 思佳	経済学科	1月31日
退職	教授	岩橋邦彦	経営学科	3月31日
	教授	市村 巧	経営学科	
	教授	井上信一	経営学科	
	教授	近藤一仁	商学科	
	大学院特任教授	青井秀夫	法学研究科	
	特任教授	甲元孝朋	経営学科	
	准教授	大村 茂	経済学科	
	准教授	下田大介	法学科	
	講師	山本二郎	経済学科	
	参与	仁科昭宣	入試部	
	事務職員	大倉京子	入試課	
嘱託職員(技能員)	中村好一	総務企画課		
嘱託職員(参事)	松田寿雄	入試課		
称号授与	名誉教授	青井秀夫	—	4月1日
	名誉教授	岩橋邦彦	—	
	名誉教授	市村 巧	—	
採用	教授	吉田 信	商学科	4月1日
	教授	陶 静	経営学科	
	講師	吉良友人	経営学科	
	講師	佐々木昭洋	経済学科	
	助教	菊川 颯	法学科	
	助教	鬼頭祐紀	法学科	
	事務職員	胡 雨希	学生課	
	事務職員	中司憲子	会計課	
	事務職員	多田有里	教務課	
	事務職員(参事)	宇田康利	入試課	
嘱託職員(参事)	仁科昭宣	入試課		

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	嘱託職員(技能員)	松本善一	総務企画課	4月1日
	准教授	加藤真也	経済学科	
	課長補佐	中村 裕	総務企画課	
	課長補佐	遠藤みゆき	教務課	
昇任	係長	藤岡 彰	図書課	4月1日
	係長	木村秀規	キャリアセンター課	
	係長	面手昌樹	教務課	
	特任教授	坂下 晃	経済学科	
	嘱託職員	森田敏生	入試課	
異動	商学研究科長	天野雅敏	商学科	4月1日
	経済学研究科長	三谷直紀	経済学科	
	経済学部長(学科長)	田中勝次	経済学科	
	経営学部長(学科長)	長田貴仁	経営学科	
	留学生別科長	岸本雅之	経営学科	
	学生活動支援センター長	岸田芳朗	商学科	
	入試部長	蒲 和重	商学科	
	入試部次長	砂川和泉	法学科	
	社会総合研究所次長	海宝賢一郎	商学科	
	岡山商科大学孔子学院長	蒲 和重	商学科	
新任	法学研究科長	粟屋 剛	法学科	4月1日
	法学部長(学科長)	粟屋 剛	法学科	
	経済学部長補佐	山下賢二	経済学科	
	教学部次長	岸本雅之	経営学科	
	法学教育センター長	伊藤治彦	法学科	
退職	嘱託職員(技能員)	松本善一	総務企画課	6月15日
移籍	係長	木村秀規	附属高等学校	7月1日
	係長	村岡 崇	キャリアセンター課	
採用	嘱託職員(技能員)	小松 操	総務企画課	9月1日
採用	嘱託職員	福田紀代	会計課	

(総務企画課)

部活動のめざましい活躍

- ボウリング部 第55回全日本ボウリング選手権大会優勝
- 柔道部 2017年度全日本学生柔道優勝大会 男子団体・女子団体 出場
- 硬式野球部 第66回全日本大学野球選手権大会出場
- 卓球部 2017年度中国学生卓球選手権春季大会 男子団体・優勝 女子団体・準優勝
- 陸上競技部 2016年度日本ジュニア陸上競技選手権 男子走高跳4位入賞



その他、中四国大学初 ライフル射撃場完成！新たに剣道・卓球・野球屋内練習場を着工！

2017年度「観光振興論特殊講義」

21世紀は観光の時代である。観光の語源は、今から約2000年前にさかのぼることができ、中国の儒教の古典とされる四書五経の一つ「易経」に「觀国之光利用費于王」（「国の光を觀る、もって王の費たるに用いるによろし」）と記されている。「国」とは当時の中国の状況からみてひとつの地域を表し、「光」とは地域のすぐれたものないし特色を意味するとされている。地域のすぐれたものを人々が觀る、また、觀せることによって人的交流を図ることが、王（地域の為政者）の大切な努めであると教えている。現在、観光は、国や地域に人を呼び込むとともに国づくり・地域づくりを実現しようとしている。それに求められるのは、地域振興・活性化を目的とした観光振興である。

さて、この講義では、観光関連産業の第一線で活躍中の方々に講師にお迎えし、オムニバス形式で講義をしていただいている。受講生は、講師の方々の経験談も交えた講義を拝聴し、それぞれの観点から提起される課題を検討し、解決策について学び、観光に対する理解を深めていく。本講義の受講生が観光関連産業の仕事に対する心構えと熱意を育み、将来、観光振興を推進できる人材となることを目標としている。

2017年度は、NPO法人 タブララサの理事長 河上 直美氏、理事 利根 弥生氏、岡山市産業観光局 観光コンベンション推進課 課長 芳原 保氏、協同組合 岡山情報文化研究所 専務理事 伊藤 博則氏、株式会社 リョービツアーズ 専務取締役 小童谷 靖則氏、ペンションくるしお丸 オーナー 牛窓町観光協会 副会長 永田 昭二氏、ANA クラウンプラザホテル岡山 総支配人 柴田 公房氏、日生カキオコまちづくりの会 会長 江端 恭臣氏、公益社団法人 おかやま観光コンベンション協会 専務理事 西 正尚氏、公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 事務局長 國友 道一氏、株式会社 JTB中国四国 岡山支店 執行役員・支店長 上田 英夫氏、株式会社 リレーションプランナー 前田 優氏、公益社団法人 岡山県観光連盟 専務理事 中田 哲氏にご登壇いただきました。（経営学部 講師 ソ ユンゾン）

第52回商大祭

第52回商大祭が10月21日(土)、22日(日)の2日間の日程で開催されます。

今年のテーマは、「大同団結～Heat up!! 心を一つに～」です。

学生相互また教職員が一体となり、共通の目標である商大祭に向け一つにまとまり、商大祭を成功させたいという思いからこのテーマに決めました。

期間中は、多彩なステージ企画、バラエティに富んだ模擬店の出店、展示等、内容盛り沢山です。多数の皆様のご来場をお待ちしております。



【出演アーティスト・芸能人】

①アーティストライブ
「NICO Touches the Walls」
10/21(土)、15:30～
(有料:要チケット)

②お笑いライブ「ロッチ」
10/22(日)、16:30～(無料)
(大学祭実行本部)



Information 情報アラカルト

2018年度入試日程

- Point.1** 入学願書記入不要です。
- Point.2** 24時間出願・支払い可能。
- Point.3** 記入漏れの心配なし！

Web出願受付中! 詳しくは岡山商科大学のホームページをご覧ください。

学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日	
法学部 経済学部 経営学部	第1回AO (専願・浪人可)	詳細は、本学ホームページ「AO入試エントリーガイド」をご覧ください。 (第1回～2回の年2回実施。エントリー期間 8月1日(火)～11月17日(金) 【Web受付】)						
	第2回AO (専願・浪人可)							
法学部 経済学部 経営学部	指定校推薦 前期日程 (専願)	①授業体験レポート ②グループ面接	10月14日(土)	本学・沖繩	9月11日(月)～10月4日(水)	Web出願	10月20日(金)	
	指定校推薦 後期日程 (専願)		2月23日(金)	本学	1月22日(月)～2月14日(水)		3月2日(金)	
	専門能力推薦 前期日程 (専願)	①授業体験レポート ②グループ面接	10月15日(日)	本学	9月11日(月)～10月4日(水)	Web出願	10月20日(金)	
	専門能力推薦 後期日程 (専願)		2月23日(金)		1月22日(月)～2月14日(水)		3月2日(金)	
法学部 経済学部 経営学部	(併願・浪人可) 前期A日程 (併願)	①基礎学力テスト (国語 100点) ②調査書 (100点)	11月3日(金・祝)	本学・大阪・鳥取・ 松江・広島・福山・ 徳島・高松・松山・ 高知・小倉	10月16日(月) ～10月25日(水)	Web出願	11月10日(金)	
			前期B日程 (併願)				11月4日(土)	11月10日(金)
			後期日程 (併願)				12月9日(土)	11月13日(月) ～11月29日(水)
法学部 経済学部 経営学部	前期A日程	①英語 (100点) …… ②選択1科目 (100点) …	2月3日(土)	本学・大阪・鳥取・ 松江・広島・福山・ 徳島・高松・松山・ 高知・小倉	1月5日(金) ～1月24日(水)	Web出願	2月9日(金)	
	前期B日程	選択2科目 (200点) ……	2月4日(日)	本学	2月5日(月) ～2月14日(水)		3月2日(金)	
	中期日程	選択2科目 (200点) ……	2月22日(木)		2月19日(月) ～2月28日(水)		3月16日(金)	
	後期日程	①選択1科目 (100点) …… ②口頭試問	3月8日(木)	本学				
学部	試験区分	入試教科・科目	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
法学部 経済学部 経営学部	前期日程	国語、地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫政経から第1解答科目)、数学(数I、数II、数A、数B、簿記、簿記A、簿記のうち1科目を試験当日会場で選択)	個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。(400点満点。大学入試センター試験での配点が100点の科目は200点に換算します。)	2月3日(土)	個別試験は行いません	1月5日(金) ～1月24日(水)	Web出願	2月9日(金)
	中期日程	個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。(400点満点。大学入試センター試験での配点が100点の科目は200点に換算します。)		2月22日(木)		2月5日(月) ～2月14日(水)		3月2日(金)
	後期日程	①選択1科目 (100点) …… ②口頭試問		3月8日(木)		2月19日(月) ～2月28日(水)		3月16日(金)

～キャンパス・リニューアルの完了～ 50周年スクエア・スタンドが完成

2017.8.21

開学50周年を機に、キャンパスのリニューアルを行ってまいりましたが、最後に残っていました50周年スクエアが完成しました。設計は全国的に有名な神戸の「いるか設計集団」に依頼をしていたもので、学生たちが気軽に腰掛けることができる3段のスタンドと斬新なデザインのリフトを配置しました。建物内部には、学生たちがくつろげる休憩スペース、運動部の学生たちも利用できるトイレを設置しました。また、スクエアの北西には、イギリス庭園などに見られるフォリー(東屋)を建設しました。丁度、西の風を受けて未来に飛び出そうとする商大の未来をイメージしたユニークな構造の素晴らしい建物となっています。キャンパスの中で最もゆとりと潤いのあるゾーンとして生まれ変わったイメージ—新の50周年スクエアに足を踏み入れ、快適空間を感じ取っていただきたいと思います。

(総務企画課)



慶應MCC 夕学講座 2017年度後期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会場 岡山商科大学 地域交流談話室(学生会館2階)
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月3日(火) <戦略と技術が拓く近未来>

高岡 本州 (たかおか もとくに)
株式会社エアウィーブ 代表取締役会長兼社長
「世界の睡眠を快適にするエアウィーブの挑戦」

10月6日(金) <人間の力を信じる経営>

梅田 悟司 (うめだ さとし)
株式会社電通 コピライター・コンセプター
「思考を深め、言葉を磨く。」

10月11日(水) <戦略と技術が拓く近未来>

藤川 佳則 (ふじかわ よしのり)
一橋大学大学院国際企業戦略研究科 准教授
「価値づくりの未来: デジタルが破壊する経営論理」

10月24日(火) <日本の近代>

菊澤 研宗 (きくざわ けんしゅう)
慶應義塾大学商学部 教授
「日本軍の失敗に学ぶ『組織の不条理』」

10月31日(火) <人間の力を信じる経営>

金原亭 馬生 (きんげんてい ばしょう) 落語家
荻野 アンナ (おぎの あんな) 作家、慶應義塾大学文学部 教授
「落語家の育て」
※本講演は対談と落語一席の講演90分と質疑応答30分の構成です。

11月7日(火) <こころと身体に向き合う>

佐々木 宏 (ささき ひろし)
クリエイティブディレクター
「リオ開会式とCM四方山と近頃ジャパンに、ひとこと。キーワードは「とんととセンス」」

11月14日(火) <この人に聞く>

浅田 次郎 (あさだ じろう)
作家
「読むこと 書くこと 生きること」

11月21日(火) <人間の力を信じる経営>

藤野 英人 (ふじの ひでと)
レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長・最高投資責任者
「投資の本質～人の可能性に投資する～」

11月22日(水) <人間の力を信じる経営>

中原 淳 (なかはら じゅん)
東京大学大学院総合教育研究センター 准教授
為末 大 (ためすえ だい)
「仕事人生のリセットボタン: 長期労働時代をいかに完走するか?」
※本講演は対談を含む講演90分と質疑応答30分の構成です。
※為末氏の肩書きは講師のご希望により肩書き無しといたします。

11月28日(火) <日本の近代>

米倉 誠一郎 (よねくら せいいちろう)
法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授、
一橋大学イノベーション研究センター特任教授、日本気象塾塾長
「イノベーションたちの歴史: 近代日本の創造的対応」

12月6日(水) <戦略と技術が拓く近未来>

石川 康晴 (いしかわ やすはる)
株式会社ストライプインターナショナル 代表取締役社長兼CEO
「ストライプインターナショナルのイノベーション」

12月15日(金) <人間の力を信じる経営>

近藤 宣之 (こんどう のぶゆき)
株式会社日本レーザー 代表取締役社長
「社員をとことん大事にする経営
～黒字経営を継続するためのマネジメント～」

1月16日(火) <こころと身体に向き合う>

瀬戸 健 (せと たけし)
RIZAPグループ株式会社 代表取締役社長
「失敗力」

1月17日(水) <こころと身体に向き合う>

松村 真宏 (まつむら なおひろ)
大阪大学大学院経済学研究科 教授
「人を動かす『仕掛学』」

1月25日(木) <この人に聞く>

土井 善晴 (どい よしはる)
料理研究家
「和食を知らない日本人はいけないでしょう!」

●お問合せ先

- 岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1
TEL 086-256-6656(直通)
FAX 086-252-0642(代表)
- 岡山商工会議所 夕学講座担当
〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15
TEL 086-232-2262 (社会総合研究所)